

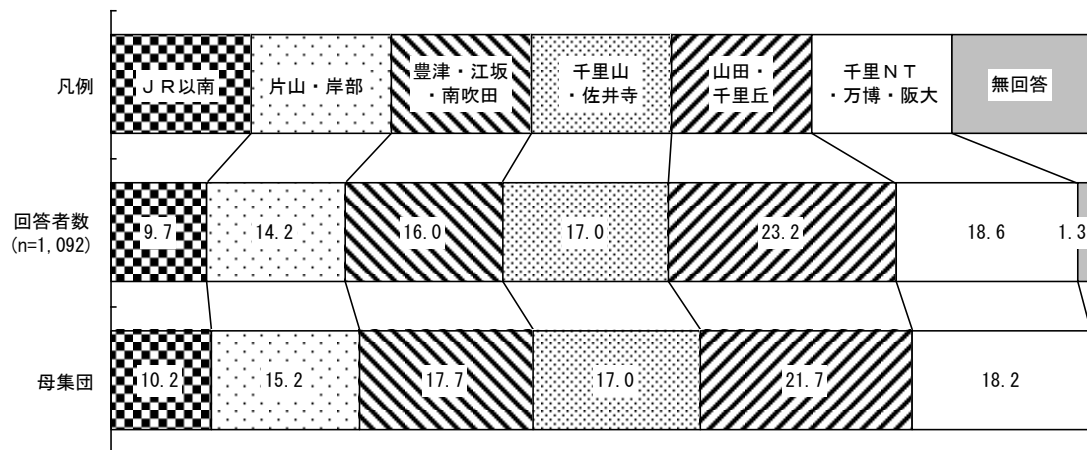
標本構成

ここでは、回答者の基本属性について集計し、回収標本の特徴を示す。また、母集団（2012年7月1日現在）と比較可能な項目についても示しておく。なお、無回答の算入や除外、四捨五入の処理などによって、百分率の合計が100%にならない場合もある。

1. 居住地域（問2）

本調査の回答者の居住地域は、「JR以南地域」9.7%、「片山・岸部地域」14.2%、「豊津・江坂・南吹田地域」16.0%、「千里山・佐井寺地域」17.0%、「山田・千里丘地域」23.2%、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」18.6%となっており、母集団と比較しても、両者の間に大きな違いはみられない。

図表1 回答者の居住地域（単純回答）（%）

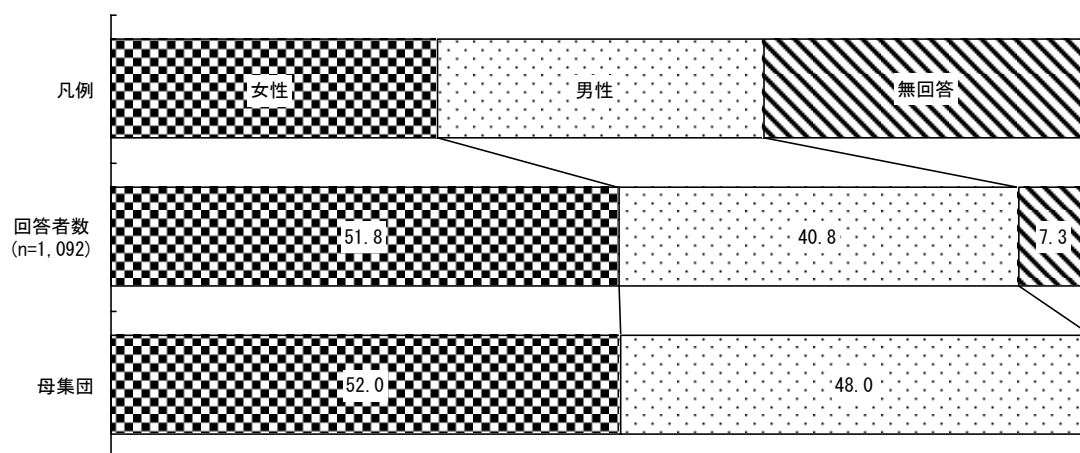


2. 性別（問 83）

本調査の回答者の性別は、「女性」51.8%、「男性」40.8%であり、「女性」が「男性」を11.0ポイント上回っている。

母集団を性別に見ると、「女性」52.0%、「男性」48.0%であり、「女性」が「男性」を4.0ポイント上回っている。

図表2 回答者の性別（単純回答）（%）



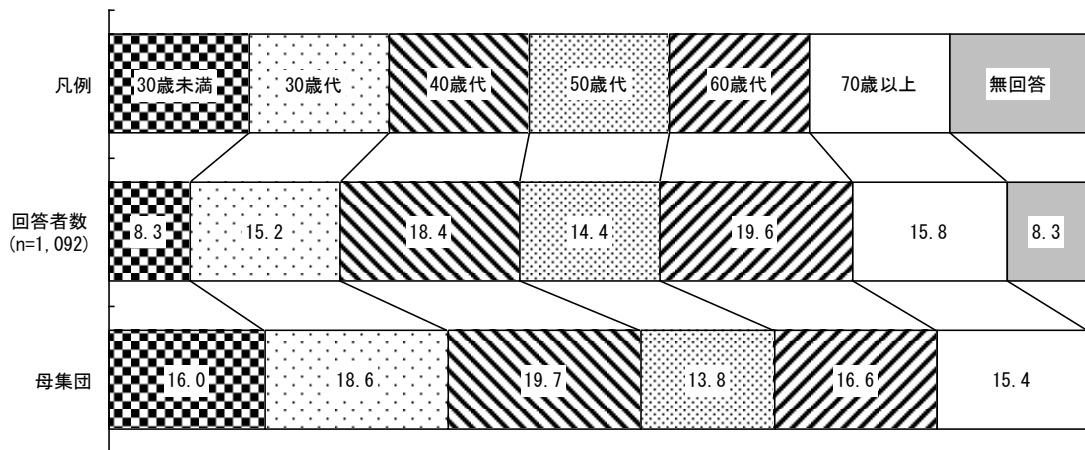
図表3 回答者の性別（居住地域別）

	標 本				母集団		
	件数	女性	男性	無回答	人口	女性	男性
全体	1,092	51.8	40.8	7.3	285,647	148,444	137,203
J R以南	106	53.8	35.8	10.4	29,229	15,183	14,046
片山・岸部	155	51.6	40.0	8.4	43,284	22,153	21,131
豊津・江坂・南吹田	175	49.7	42.9	7.4	50,595	25,235	25,360
千里山・佐井寺	186	51.6	41.4	7.0	48,674	25,324	23,350
山田・千里丘	253	50.6	43.1	6.3	61,887	32,208	29,679
千里NT・万博・阪大	203	53.7	40.4	5.9	51,978	28,341	23,637

3. 年齢層（問 82）

本調査の回答者の年齢層は、無回答を除くと、「60 歳代」が最も多く、19.6%である。次いで、「40 歳代」の 18.4%、「70 歳以上」の 15.8%の順となっている。母集団と比較すると、「30 歳未満」は 7.7 ポイント、「30 歳代」は 3.4 ポイント少なく、「60 歳以上」は 3.0 ポイント多くなっているが、これら以外は 1~2%までの相違となっている。

図表 4 回答者の年齢層（単純回答）（%）



図表 5 回答者の年齢層（性別・居住地域別）（%）

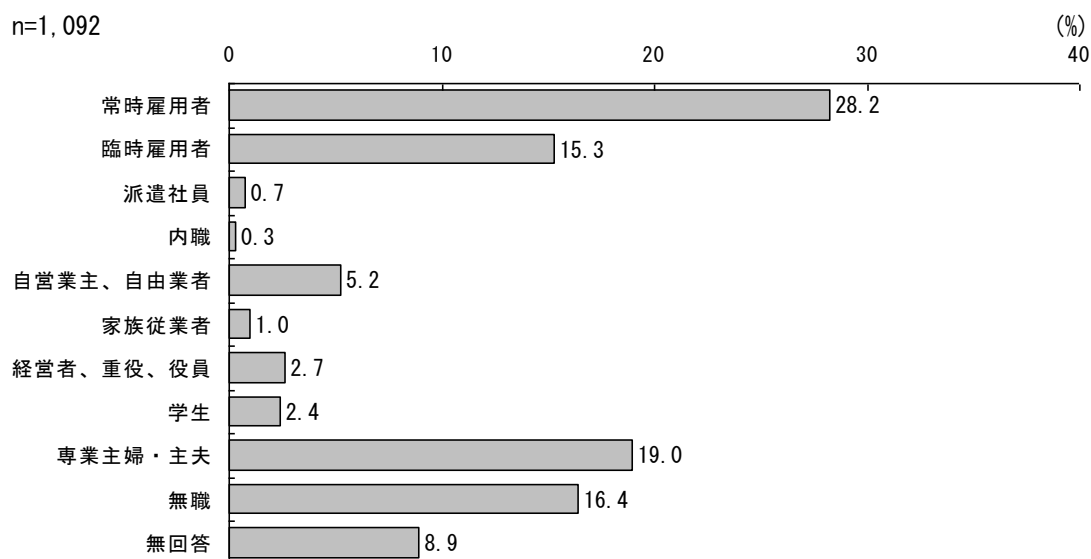
		件数	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全 体		1,092	8.3	15.2	18.4	14.4	19.6	15.8	8.3
性別	女性	566	9.4	17.5	18.4	15.9	20.5	16.4	1.9
	男性	446	8.5	15.0	21.7	15.0	22.0	17.3	0.4
居住地域別	J R以南	106	7.5	8.5	13.2	19.8	19.8	18.9	12.3
	片山・岸部	155	7.7	16.8	14.8	12.3	24.5	14.8	9.0
	豊津・江坂・南吹田	175	9.1	24.6	17.7	9.7	17.7	10.9	10.3
	千里山・佐井寺	186	9.1	17.2	22.6	14.5	19.9	9.7	7.0
	山田・千里丘	253	8.7	12.3	21.3	15.8	21.3	13.8	6.7
	千里NT・万博・阪大	203	6.4	11.8	17.7	15.8	14.8	27.1	6.4

4. 職業（問 84）

回答者の職業は、「常時雇用者」が最多であり、28.2%を占めている。次いで、「専業主婦・主夫」（19.0%）、「無職」（16.4%）、「臨時雇用者」（15.3%）が続いている。

これらの他は、「自営業主、自由業者」が 5.2%であり、「派遣社員」「内職」「家族従業者」「経営者、重役、役員」及び「学生」は、いずれも 3%未満となっている。

図表 6 回答者の職業（単純回答）



図表 7 回答者の職業（性別・年齢別・居住地域別） (%)

		件数	常時雇用者	臨時雇用者	派遣社員	内職	自営業主、自由業者	家族従業者	経営者、重役、役員	学生	専業主婦・主夫	無職	無回答
全体		1,092	28.2	15.3	0.7	0.3	5.2	1.0	2.7	2.4	19.0	16.4	8.9
性別	女性	566	16.6	22.6	1.2	0.4	3.0	1.9	0.7	2.5	35.3	14.3	1.4
	男性	446	48.0	8.5	0.2	0.2	9.0	0.0	5.6	2.7	1.3	22.0	2.5
年齢別	30歳未満	91	37.4	13.2	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	25.3	12.1	9.9	0.0
	30歳代	166	46.4	13.3	2.4	0.0	7.2	1.8	1.8	1.8	19.3	6.0	0.0
	40歳代	201	51.2	19.9	1.5	0.0	3.5	1.0	5.0	0.0	13.4	4.5	0.0
	50歳代	157	38.9	22.3	0.6	0.6	7.6	0.6	3.8	0.0	18.5	5.7	1.3
	60歳代	214	11.7	21.5	0.0	0.9	6.5	0.9	3.7	0.0	23.4	28.0	3.3
	70歳以上	172	1.2	3.5	0.0	0.0	6.4	1.2	1.2	0.0	33.1	47.7	5.8
居住地域別	J R以南	106	22.6	12.3	0.9	0.0	5.7	0.9	2.8	1.9	18.9	21.7	12.3
	片山・岸部	155	28.4	17.4	0.6	0.0	5.8	0.6	1.9	0.6	19.4	15.5	9.7
	豊津・江坂・南吹田	175	31.4	17.1	1.1	0.6	5.7	1.7	4.6	2.9	13.1	13.1	8.6
	千里山・佐井寺	186	32.8	16.7	0.5	0.0	3.2	1.1	3.2	1.6	18.8	13.4	8.6
	山田・千里丘	253	29.2	13.4	0.4	0.4	5.9	0.8	2.4	3.2	20.9	16.2	7.1
	千里NT・万博・阪大	203	23.6	13.8	0.5	0.5	5.4	1.0	1.5	3.0	22.2	20.7	7.9

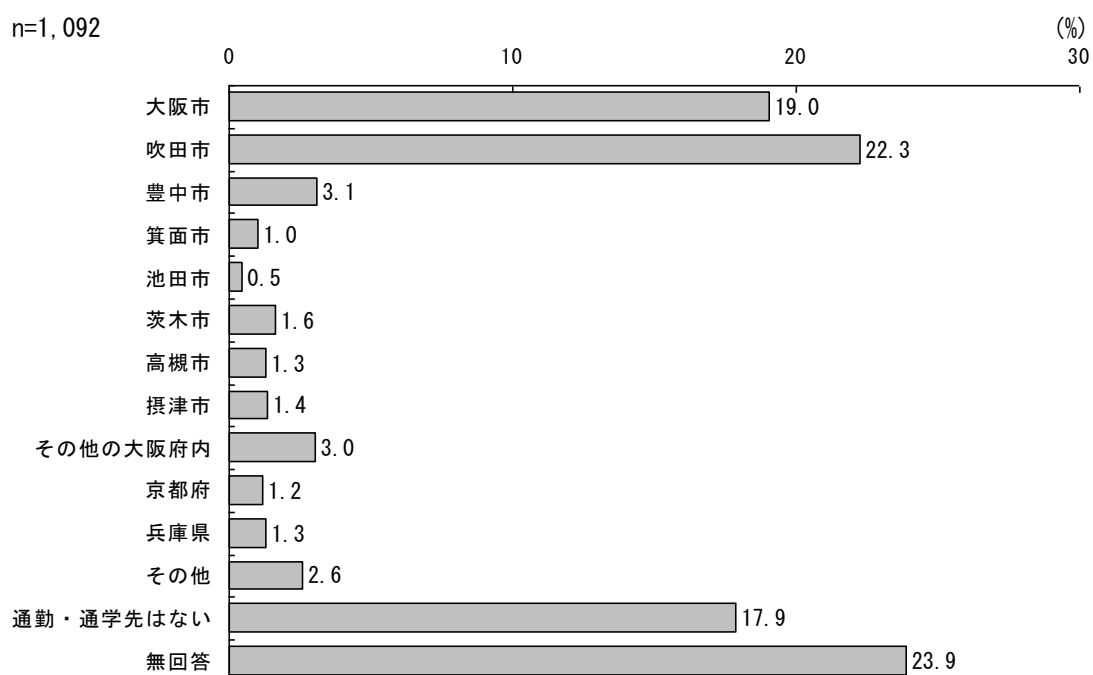
5. 通勤・通学地（問 85）

回答者の通勤・通学地は、無回答を除くと「大阪市」（19.0%）と「吹田市」（22.3%）に二分される。「通勤・通学先はない」が 17.9%を占めているが、「大阪市」「吹田市」以外の地域は、いずれも 5%未満である。

なお、「その他」では、「複数の仕事をしているので、それぞれで行き先が変わる」などが挙げられている。

通勤・通学地を職業別にみると、「常時雇用者」は「大阪市」が 45.5%であり、「臨時雇用者」は「吹田市」が 59.9%を占めている。

図表 8 回答者の通勤・通学地（単純回答）



図表9 回答者の通勤・通学先（一部／性別・年齢別・居住地域別・職業別）（％）

		件数	大阪市	吹田市	通勤・通学先はない	無回答
全 体		1,092	19.0	22.3	17.9	23.9
性別	女性	566	13.3	26.7	24.0	24.2
	男性	446	29.8	20.4	13.2	10.1
年齢別	30歳未満	91	27.5	24.2	17.6	4.4
	30歳代	166	36.7	20.5	18.1	6.0
	40歳代	201	27.4	27.4	10.9	6.5
	50歳代	157	15.9	33.1	15.3	8.9
	60歳代	214	11.7	24.3	24.3	27.6
	70歳以上	172	5.8	13.4	29.7	47.7
居住地域別	J R以南	106	13.2	22.6	18.9	31.1
	片山・岸部	155	19.4	22.6	14.2	30.3
	豊津・江坂・南吹田	175	25.7	30.3	15.4	17.7
	千里山・佐井寺	186	22.6	22.0	15.6	22.6
	山田・千里丘	253	15.4	19.4	22.1	19.4
	千里NT・万博・阪大	203	17.7	18.2	20.2	27.1
職業別	常時雇用者	308	45.5	20.8	0.0	0.3
	臨時雇用者	167	18.0	59.9	0.0	0.0
	派遣社員	8	12.5	25.0	0.0	0.0
	内職	3	0.0	33.3	0.0	33.3
	自営業主、自由業者	57	15.8	63.2	3.5	0.0
	家族従業者	11	9.1	63.6	18.2	0.0
	経営者、重役、役員	29	37.9	27.6	0.0	3.4
	学生	26	30.8	23.1	3.8	0.0
	専業主婦・主夫	207	1.4	4.3	49.8	44.0
	無職	179	2.2	4.5	48.0	43.0

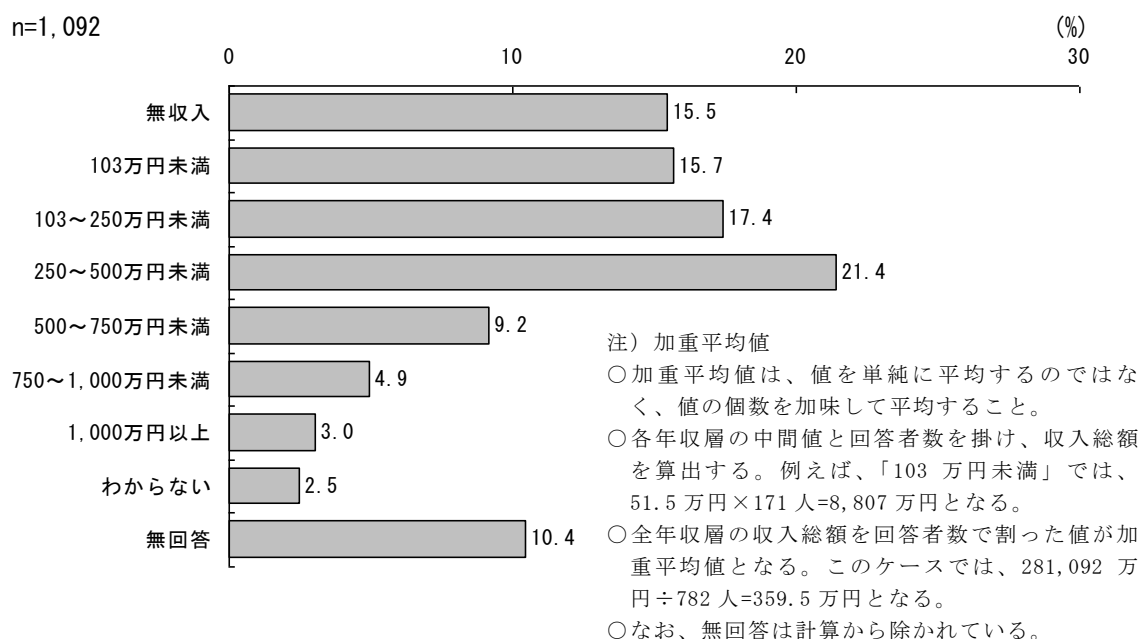
6. 年間収入（問 88）

（1）回答者自身の年間収入

回答者自身の年間収入は、「250～500 万円未満」が最も多く、21.4%である。次いで、「103～250 万円未満」（17.4%）、「103 万円未満」（15.7%）の順である。「無収入」（15.5%）を含め、500 万円までが 70%を占めている。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有
所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者自身の平均年間収入は 359.5 万円
となる。

図表 10 回答者自身の年間収入（単純回答）



図表 11 回答者自身の年間収入

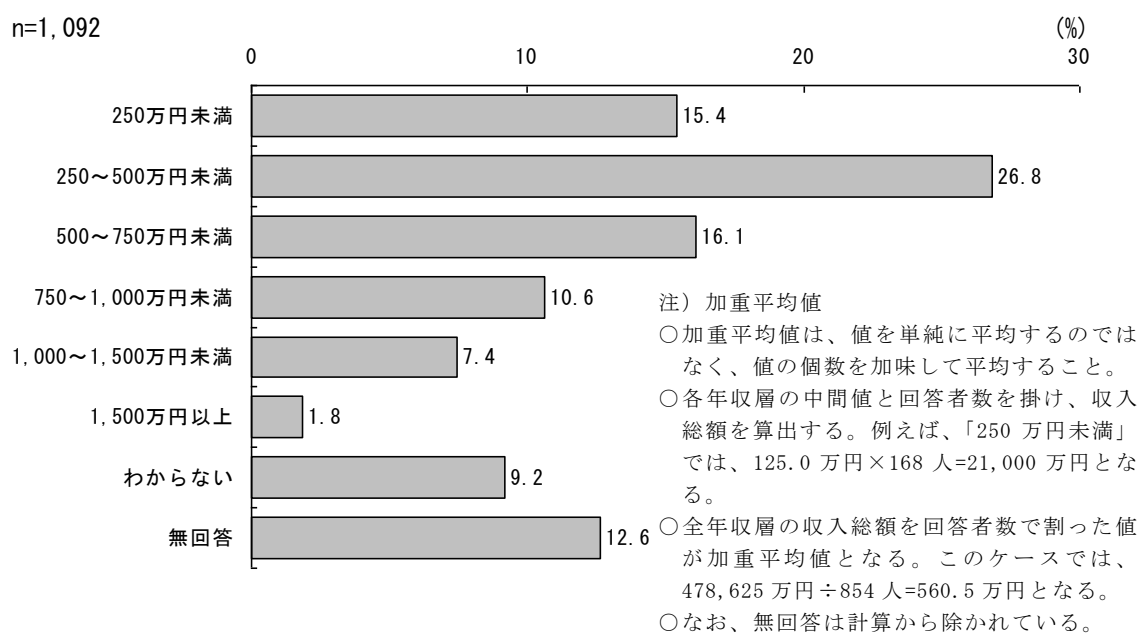
	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
無収入	169	15.5	—	—
103万円未満	171	15.7	51.5	8,807
103～250万円未満	190	17.4	176.5	33,535
250～500万円未満	234	21.4	375.0	87,750
500～750万円未満	100	9.2	625.0	62,500
750～1,000万円未満	54	4.9	875.0	47,250
1,000万円以上	33	3.0	1,250.0	41,250
わからない	27	2.5	—	—
無回答	114	10.4	—	—
合計	1,092	100.0	—	—
有所得者数・収入総額	782	—	—	281,092
平均年間収入（加重平均値）	—	—	—	359.5

(2) 回答者の世帯の年間収入

回答者の世帯の年間収入は「250～500万円未満」が最も多く、26.8%である。次いで、「500～750万円未満」(16.1%)、「250万円未満」(15.4%)の順であり、750万円までが60%近くを占めている。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者の世帯の平均年間収入は560.5万円となる。

図表 12 回答者の世帯の年間収入（単純回答）



図表 13 回答者の世帯の年間収入

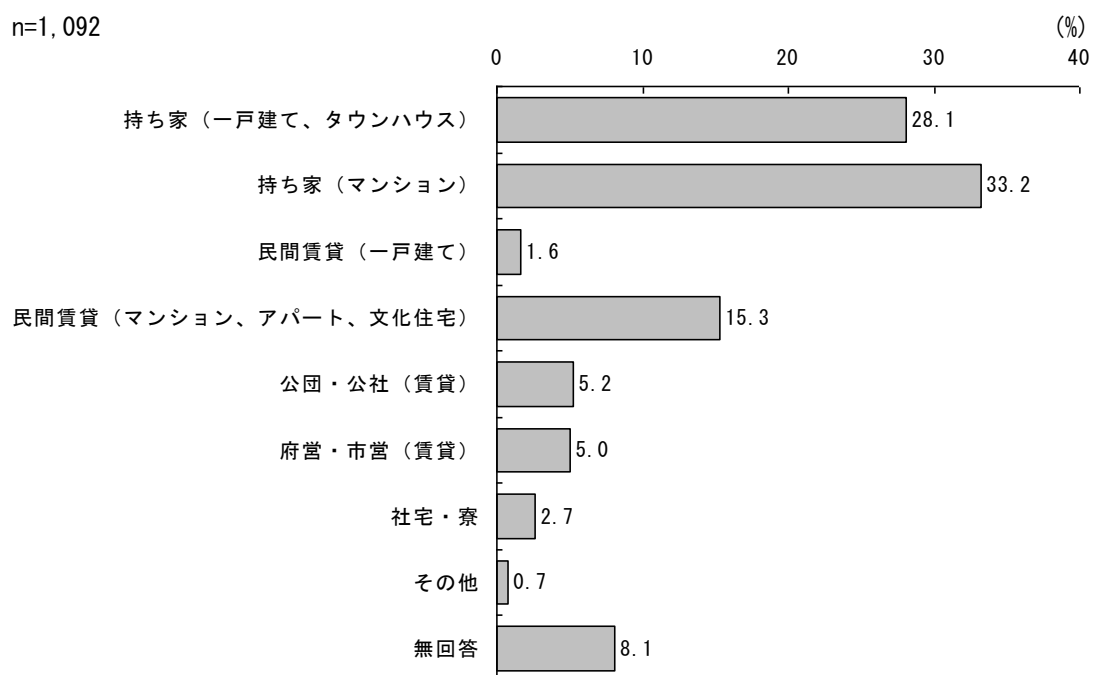
	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
250万円未満	168	15.4	125.0	21,000
250～500万円未満	293	26.8	375.0	109,875
500～750万円未満	176	16.1	625.0	110,000
750～1,000万円未満	116	10.6	875.0	101,500
1,000～1,500万円未満	81	7.4	1,250.0	101,250
1,500万円以上	20	1.8	1,750.0	35,000
わからない	100	9.2	—	—
無回答	138	12.6	—	—
合計	1,092	100.0	—	—
有所得者数・収入総額	854	—	—	478,625
平均年間収入 (加重平均値)	—	—	—	560.5

7. 住宅の種類（問 89）

回答者が住む住宅の種類は、「持ち家（マンション）」が最も多く、33.2%である。次いで、「持ち家（一戸建て、タウンハウス）」（28.1%）であり、持ち家比率は 61.3%となっている。

なお、「その他」には、「グループホーム」などが挙げられている。

図表 14 回答者の住宅の種類（単純回答）



図表 15 回答者の住宅の種類（性別・年齢別・居住地域別）

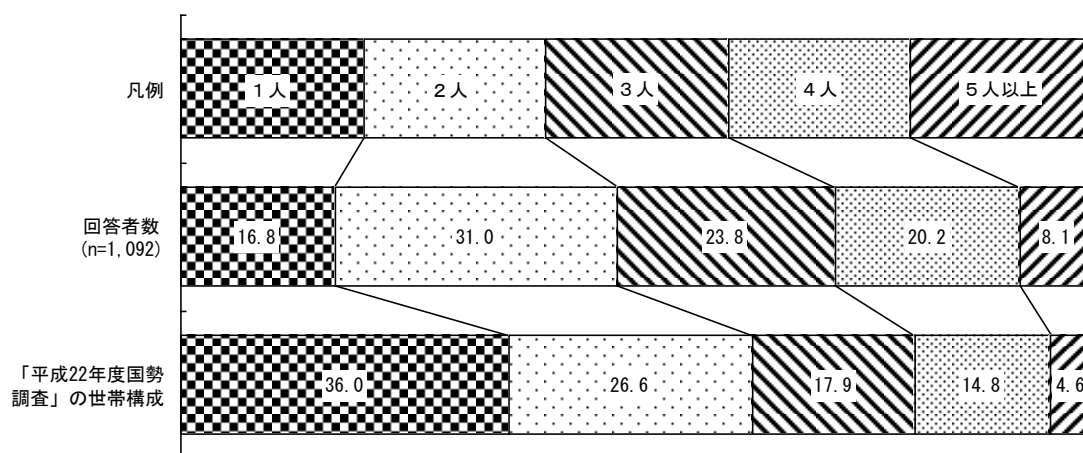
(%)

		件数	持ち家（一戸建て、タウンハウス）	持ち家（マンション）	民間賃貸（一戸建て）	民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	公団・公社（賃貸）	府営・市営（賃貸）	社宅・寮	その他	無回答
全 体		1,092	28.1	33.2	1.6	15.3	5.2	5.0	2.7	0.7	8.1
性別	女性	566	31.1	35.0	1.2	16.4	5.3	6.2	2.3	0.9	1.6
	男性	446	29.4	36.8	2.5	16.4	6.1	4.3	3.6	0.7	0.4
年齢別	30歳未満	91	20.9	24.2	2.2	31.9	7.7	4.4	6.6	0.0	2.2
	30歳代	166	23.5	33.1	0.6	28.9	3.6	1.8	6.0	1.2	1.2
	40歳代	201	29.9	40.3	1.0	18.4	2.5	2.5	5.5	0.0	0.0
	50歳代	157	32.5	43.3	1.3	12.7	5.1	3.2	0.6	1.3	0.0
	60歳代	214	32.7	39.7	3.3	8.9	6.1	7.0	0.5	0.5	1.4
	70歳以上	172	37.2	28.5	1.7	6.4	10.5	12.8	0.0	1.7	1.2
居住地域別	J R以南	106	54.7	7.5	4.7	11.3	1.9	2.8	0.9	3.8	12.3
	片山・岸部	155	43.2	20.6	3.9	14.2	2.6	2.6	3.2	0.0	9.7
	豊津・江坂・南吹田	175	29.7	27.4	1.7	26.9	0.6	0.6	4.6	0.0	8.6
	千里山・佐井寺	186	27.4	30.6	1.1	28.0	2.2	1.1	2.2	0.0	7.5
	山田・千里丘	253	18.2	60.1	0.4	11.1	0.8	0.4	2.0	0.4	6.7
	千里NT・万博・阪大	203	14.3	31.5	0.0	2.0	21.2	21.2	2.5	1.5	5.9

8. 世帯構成（問 86～問 87）

本調査の回答者の世帯人員は「1人」世帯が16.8%であり、平成22年度の国勢調査での本市の「1人世帯」の割合36.0%の半数以下である。一方、「2人」世帯（31.0%）、「3人」世帯（23.8%）、「4人」世帯（20.2%）及び「5人以上」世帯（8.1%）は、本市の平成22年度の国勢調査による世帯構成を上回っている。

図表 16 回答者の世帯人員（%）



図表 17 回答者の世帯人員

	本アンケート調査		平成22年度国勢調査	
	回答者数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)
1人	184	16.8	55,622	36.0
2人	339	31.0	41,131	26.6
3人	260	23.8	27,730	17.9
4人	221	20.2	22,921	14.8
5人以上	88	8.1	7,183	4.6
合計	1,092	100.0	154,587	100.0
世帯人員	2,258	—	350,410	—
1世帯あたり人員	2.07	—	2.27	—

回答者の家族構成は、「親子」が半数近い 48.4%を占めている。次いで、「夫婦」(26.3%)、「単身」(16.8%)の順となっている。

世帯人員別にみると、「2人」は「夫婦」が 84.7%を占めており、「3人」「4人」は「親子」が 90%を超えている。「5人以上」は「三世帯以上」が 55.7%を占めており、「親子」は 39.8%である。

図表 18 回答者の家族構成 (%)

